

ふりがな 氏 名	みやけ もとこ 三宅 元子	職 名	教授
取得学位	博士(教育学)	学会での受賞歴	
主な担当科目	くらしの経済、消費生活論		
所属学会	日本家政学会、消費者教育学会、日本教育工学会、日本 GID 学会、大学教育学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
・令和4年度大学へのエシカル消費の普及啓発事業 受託研究	2022年4月 ～2023年2 月	名古屋市から委託され、大学生が授業で学んだ知識・技 術を生かし、企業と連携し名古屋市主催のイベント(消費 生活フェア)や地域の行事でエシカル消費の啓発活動を行 った。
・令和4年度名古屋環境大学 共有講座 講師	2022年6月 ～7月	一般市民向け SDGsに関する全5回の講座を担当した。
・令和4年度名古屋市土曜学習講座 講師	2022年9月	小学生向け金銭教育学習講座を担当した。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	実践的指導力をつける家庭科教育 法	共	2018年 10月	大学教育出版	多々納道子・伊藤圭子他11名 第14章 分担(pp. 150-161)
論 文	・食育からみた異分野融合実習の効 果に関する考察	単	2019年 3月	名古屋女子大学紀要 第65号家政・自然編	<u>三宅元子</u> (pp. 39-50)
	・JUES からみた学習経験に関する 一考察	共	2019年 3月	名古屋女子大学紀要 第65号人文・社会編	<u>三宅元子</u> 、 <u>白井靖敏</u> (pp. 207-214)
	・カミングアウト後の当事者と友人大 学生の聞き取り調査からみえる性同 一性障害への理解と支援の指針	単	2019年 12月	GID学会雑誌Vol.12 No1	<u>三宅元子</u> (pp. 121-128)
	・「総合的な学習の時間」と大学での 深い学び	共	2020年 3月	名古屋女子大学紀要 第66号人文・社会編	<u>白井靖敏</u> 、 <u>三宅元子</u> (pp. 141-150)
	・内部質保証を見据えた学修ポート フォリオとルーブリック評価について	共	2020年 3月	名古屋女子大学紀要 第66号人文・社会編	<u>三宅元子</u> 、 <u>白井靖敏</u> (pp. 151-160)
	・大学生の主体的な学修を促す「総 合的な学習の時間」での学外授業 実践	共	2021年 3月	名古屋女子大学紀要 第67号人文・社会編	<u>三宅元子</u> 、 <u>白井靖敏</u> (pp. 85-93)
・「総合的な学習の時間」での学習 経験から考察するインストラクショ ナルデザイン	共	2022年 3月	名古屋女子大学紀要 第68号人文・社会編	<u>白井靖敏</u> 、 <u>三宅元子</u> (pp. 101-113)	

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論文	・大学生の主体的な学修を促す「総合的な学習の時間」での学外授業	共	2022年 3月	名古屋女子大学紀要 第68号人文・社会編	<u>三宅元子</u> 、白井靖敏 (pp. 115-123)
	インフォグラフィックスを用いた課題の開発と実践— 授業内容の理解と情報リテラシーの習得の統合的な達成を目指して—	共	2022年 6月	大学教育学会誌44(2)	飯尾健、 <u>三宅元子</u> (pp. 51-61)
	大学生の主体的な学修を促す「総合的な学習の時間」での学外授業	共	2023年 3月	名古屋女子大学紀要 第69号人文・社会編	<u>三宅元子</u> 、白井靖敏 (pp. 123-132)
学会発表	・消費者教育におけるインフォグラフィックスを用いた学習活動の開発と実践(ポスター)	共	2021年 5月	日本家政学会第73回研究発表大会	<u>三宅元子</u> 、飯尾健 要旨集(p77)
	・インフォグラフィックスを用いた情報リテラシーのパフォーマンス評価の試み(口頭発表)	共	2021年 6月	大学教育学会第43回大会	飯尾健、 <u>三宅元子</u> 要旨集(pp80-81)
	・Metacognitive Awareness Inventoryの因子構造の再検討(口頭)	共	2021年 9月	教育システム情報学会 第46回全国大会	丹羽量久、山地弘起、 <u>三宅元子</u> (pp125-126)
	・名古屋市と連携した学内消費者教育実践におけるルーブリック評価(口頭)	共	2021年 10月	日本消費者教育学会第 41回全国大会	<u>三宅元子</u> 要旨集(p46)
	・メタ認知尺度 MAI による学生の分類と情報基礎科目の学習成果との関係(口頭)	共	2022年 3月	第28回大学教育研究フ ォーラム	丹羽量久、山地弘起、 <u>三宅元子</u> (p48)
その他 (報告書)	・第4章「主体的な学び」を修得させる授業実践の事例報告 第2節家政学部家政経済学科の事例	共	2019年 5月	総合科学研究第13号	<u>三宅元子</u> 、白井靖敏 (pp40-43)
	・性別に違和感がある子ども達への制服に関する考察	単	2019年 12月	GID 学会雑誌 Vol.12 No1	<u>三宅元子</u>
	・エシカル教材の開発とエシカル消費の啓発実践	単	2021年 3月	大学による倫理的消費 (エシカル消費)普及啓発 事業事例集 名古屋市ス ポーツ市民局	<u>三宅元子</u> (pp22-23)
	・女子大学生のキャリアと化粧に対する意識(3)	単	2022年 5月	総合科学研究第16号	<u>三宅元子</u> (p44)

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
そ の 他 (報告書)	・大学における効果的な授業法の研究(平成30年度～令和3年度) —本学における効果的なアクティブラーニングの開発—	共	2022年 5月	総合科学研究第16号	三宅元子(研究代表)他13名 (pp1-37) 2章(pp21-23)、3章(p29)、分担